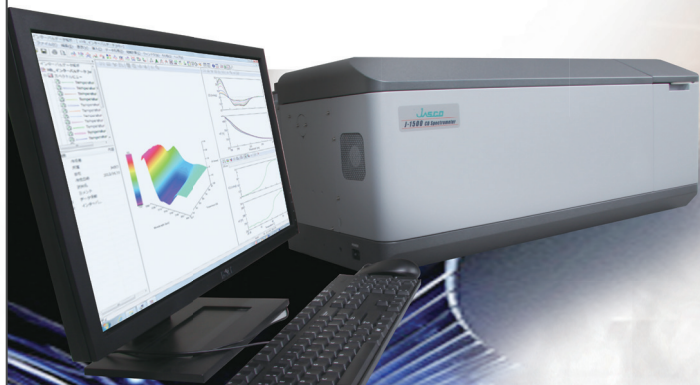


最新のテクノロジーから誕生した 新次元円二色性分散計

J-1000 シリーズは、光学設計の最適化と最新のデジタル信号処理技術とにより、新たなステージに進化した円二色性分散計として誕生しました。タンパク・核酸などのバイオ分野に適した紫外・可視領域モデル (180~600nm) の J-1100、測定波長範囲 163nm から 1600nm までに対応し、タンパク・核酸のみならず、最新の研究分野であるキラル高分子、超分子、金属錯体などあらゆるニーズに対応可能な J-1500 をラインナップしています。



特長

- 真空紫外領域においても高 S/N で測定が可能。
- CD、LD、Abs、FD CD、蛍光スペクトル、蛍光異方性、ORD など多彩な測光モードに対応したマルチプロンプシステム。
- 窒素バージ効率の向上により、窒素使用量を低減。
- 最新のワイドダイナミックデジタルロックインアンプの採用により、高吸光度試料においても正確な CD スペクトルを得ることができます。

円二色性分散計

J-1000 series

NEW Concept

励起分子のキラリティーを判定し、 3D 構造解析に必要な情報を提供します

CPL-300 は、円偏光ルミネッセンス (Circularly Polarized Luminescence: CPL) 測定システムです。おもな特徴として、微弱信号を高感度で検波し、CP 信号によって邪魔な成分であるアーティファクトと迷光を極限まで抑えます。また、プリズム分光により困難とされていた紫外励起の CPL 測定を実現します。さらに、円二色性分散計 (J-1000 シリーズ) と共通した付属品群を使用することで、温度変化測定や磁場中での測定も行えます。

円偏光ルミネッセンス測定システム

CPL-300

